

除染



7月17日に行われた住民説明会（白石行政区）

飯館村の復興のために決して欠くことができない除染。国の責任において行われる本格除染では、今年度除染対象になっている12行政区に対し、土地家屋モニタリング調査の説明会が5月に開催され、村内の宅地一軒ごとの調査が行われています。この土地家屋モニタリング調査の結果を踏まえて、国は宅地一軒ごとの具体的な除染計画を策定し、所有者に説明を行うこととしています。村の除染を進めていくためには、村民の皆さんのご理解・ご協力が欠かせません。そのため、村は国に対し、除染方法や仮置き場建設について協議を続けています。

本格除染の個別説明が始まる

村は、土地家屋モニタリング調査が行われ、個別の除染計画が環境省から策定された行政区に対し、住民説明会を7月から開催しています。

除染の住民説明会が真つ先に開催された二枚橋・須賀行政区では、7月9日から所有者の立会いのもと、家屋や周辺の除染方法について現地での個別説明を行いました。今後、行政区対象に再度開催する除染説明会の中で、除染作業への同意をいただくようになります。

村民に寄り添った除染が今後円滑に進められていくために、村は村議会とともに国と鋭意協議を行っています。

住民説明会の中で出された指摘・要望

- ・除染の目標値や仮置き場建設の状況
- ・住宅の裏にある居久根の伐採
- ・セメント瓦、土壁の建物、倒壊寸前の建物などの除染方法
- ・農地の除染方法
- ・仮置き場の建設等

これらの課題について、村及び村議会は連携しながら、精力的に環境省と協議を進めてまいります。



▲現地での個別説明のようす（二枚橋）

村内除染事業

農林水産省が行っている農地除染実証事業では、代かき除染や反転工法の効果を調べるため、表土はぎ取りをした田でこれらの手法を実施しています。また、長泥地区では牧草地の削り取り工を実施しました。ここには、除草・かき出し・バキュームにより、土壌に含まれる放射性物質の濃度が7割から8割程度減衰しています。詳しい結果は次号報告予定です。

このほかに、作物への放射性物質の移行を調べるため、表土はぎ取り後のほ場で水稲や野菜の作付試験を行っています。

環境省による先行除染では、草野地区東工区や村営施設等の先行除染を行っています。



▲牧草地の表土をショベルカーでかき集めています（長泥）



▲代かき後、田植えを行います（小宮）



▲きこりのコテージ付近の表土を手作業ではぎ取り



▲屋根は落ち葉等を取り除いてから拭き取る（飯樋町集会場）

昨年度除染が行われた施設等の現在の空間線量率をお知らせします

それぞれの地点の除染前、除染後、7月24日計測の地上1cmと地上1mの空間線量率となります。
(単位:マイクロシーベルト/時)



草野小学校 玄関前		
	1cm	1m
除染前	4.18	3.38
除染後	2.08	1.32
7/24	2.00	1.63

草野小学校 校庭中央		
	1cm	1m
除染前	5.92	4.66
除染後	0.53	0.60
7/24	0.49	0.52

その他の除染結果

単位: マイクロシーベルト/時

対象	除染方法		除染前	除染後	7/24
宅地・庭	下草刈り 表土はぎ取り (3cm)	1cm	6.56	4.35	4.04
		1m	4.34	2.37	3.10
田畑	下草刈り 固化材散布 表土はぎ取り (2~5cm)	1cm	4.78	1.70	1.25
		1m	3.86	1.70	1.53
森林	下草刈り 落ち葉除去 リター層※除去	1cm	4.96	3.38	3.63
		1m	3.91	3.04	2.58

※リター層: 植物の枝や葉が地表に堆積し、未分解の状態の層



▲1月に行った草野小学校の外壁の除染のようす